

[First Hit](#) [Previous Doc](#) [Next Doc](#) [Go to Doc#](#)

☐ [Generate Collection](#) [Print](#)

L3: Entry 13 of 21

File: DWPI

Feb 26, 1999

DERWENT-ACC-NO: 1999-219236

DERWENT-WEEK: 199920

COPYRIGHT 2006 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Display apparatus for domestic and business use and foodstuff stored refrigerator - has display board on which name and article and its expiry date are shown by change of color signal light

PATENT-ASSIGNEE:

ASSIGNEE

CODE

MESAKI K

MESAI

PRIORITY-DATA: 1997JP-0247439 (August 7, 1997)

[Search Selected](#)

[Search ALL](#)

[Clear](#)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
<input type="checkbox"/> JP 11052855 A	February 26, 1999		003	G09F001/02

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DATE	APPL-NO	DESCRIPTOR
JP 11052855A	August 7, 1997	1997JP-0247439	

INT-CL (IPC): [F25 D 23/00](#); [G09 F 1/02](#); [G09 F 3/02](#)

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 11052855A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - The name of article stored in the refrigerator (1) and its expiry date are read by a registration reading pen (2) and are displayed in its display board (4) for article whose expiry date is not known, the name of the article is input into a data processor (3) by reading it from display (5) of the article and after processing, the expiry date is displayed on a display board (4).

USE - For displaying name of article and its expiry date on door of refrigerator.

ADVANTAGE - Food poisoning is prevented by displaying expiry data. Energy is conserved as frequent opening and closing the door of refrigerator is prevented.
DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows perspective view of refrigerator with display apparatus. (1) Refrigerator; (2) Registration reading pen; (3) Data processor; (4) Display board; (5) Display.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.2/3

TITLE-TERMS: DISPLAY APPARATUS DOMESTIC BUSINESS FOOD STORAGE REFRIGERATE DISPLAY
BOARD NAME ARTICLE EXPIRE DATE CHANGE SIGNAL LIGHT

DERWENT-CLASS: P85 Q75 X27

EPI-CODES: X27-F02C2;

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1999-162074

[Previous Doc](#)

[Next Doc](#)

[Go to Doc#](#)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-52855

(43) 公開日 平成11年(1999) 2月26日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

G 0 9 F 1/02

G 0 9 F 1/02

D

F 2 5 D 23/00

3 0 1

F 2 5 D 23/00

3 0 1 L

G 0 9 F 3/02

G 0 9 F 3/02

U

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平9-247439

(71) 出願人 597130926

目崎 希安

広島県深安郡神辺町字平野339番地の5

(22) 出願日 平成9年(1997) 8月7日

(72) 発明者 目崎 豊和

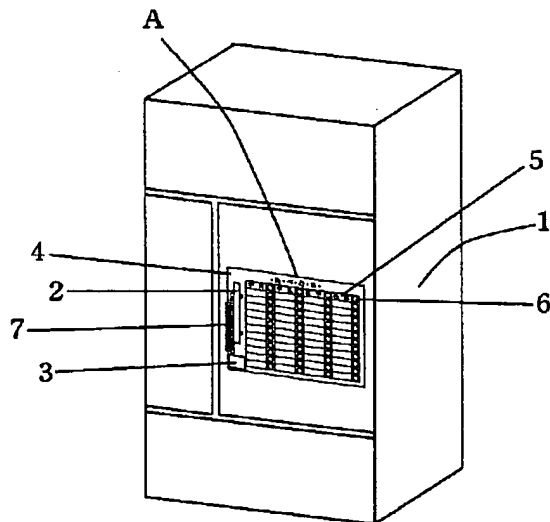
広島県深安郡神辺町字平野339番地の5

(54) 【発明の名称】 冷蔵庫収蔵食品の品名及び賞味期限の外部表示具

(57) 【要約】

【課題】 冷蔵庫内に収蔵された食品の品名及びその食品の賞味期限を外部より知ることができる装置を得る。

【解決手段】 冷蔵庫本体1に表示ボード4を貼り付け冷蔵庫に収蔵する食品の品名・賞味期限を登録読みペン2により読取り、又賞味期限が提示されていない食品に対しては暫定的にデーター処理部3にデーター入力しておき、そのデーターをボード4上において、食品名は品名表示部5に文字表示され、賞味期限の表示はボード4の表示灯6に色変化にて表示することにより冷蔵庫内に収蔵食品と賞味期限をドアを開けないまま、外部より知ることができる。



【特許請求の範囲】

【請求願1】 冷蔵庫に食品を収蔵する際、食品の品名及び賞味期限の印刷掲載がなされている食品に対しては、登録読みペンにより読取って入力し、賞味期限が掲載されていない食品に対しては、あらかじめ暫定的に、品名及び賞味期限を記憶入力したものを冷蔵庫の扉に貼り付けた表示ボードに表すことにより、冷蔵庫の扉を開けなくても外部より収蔵品名と同時に賞味期限が分かるようにしたことを特徴とする冷蔵庫収蔵食品の品名及び賞味期限の外部表示具

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、家庭用あるいは業務用の冷蔵庫に関し、冷蔵庫収蔵食品の品名及び賞味期限の外部表示具に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来の冷蔵庫においては、冷蔵庫内の食品名及び賞味期限を登録したり、これらを外面に表示するための表示機能を有していなかった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】冷蔵庫内部に収蔵されている食品及び、賞味期限を調べるときは、冷蔵庫のドアを開いて確認する必要があった。特に冷蔵庫内にたくさんの食品を収蔵しているときは、食品在庫の有無がわかりにくく、賞味期限が超過していても見逃す事が多い。このため冷蔵庫内の食品腐敗を招くことになっていた。この発明は上記のような問題点を解決しようとするものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は、冷蔵庫内食品の品名を記憶登録する手段と、その食品の賞味期限を記憶登録する手段又、賞味期限が掲載されていない食品に対しては、あらかじめ暫定的に賞味期限を記憶入力したものを冷蔵庫外部に表示出力することにより、従来の問題点を解決している。

【0005】

【発明の実施の形態】冷蔵庫1のドア部に液晶で形成された表示ボードをマグネットで貼り付け、表示ボード4の上に備えているペン状の登録読みペンで食品、賞味期限を入力する。入力されたデータは、表示ボード4の上に設置したデータ処理部3に記憶され、処理されたものが、表示ボード4に表示される。又、その食品を消去したい時は、表示灯6を押せば食品及び賞味期限データが消去し、消去された所に再度データ入力された新しい情報が表示される。

【0006】

【実施例】次に、本発明について図面を参照して説明する。図1と図2は本発明の一実施例を示す斜視図と系統図であり、図3は図2のA部の拡大図である。まず最初

に冷蔵庫本体1の中に収容する食品の品名及び賞味期限の印刷掲載がなされているものに対してはペン状の登録読みペン2により品名及び賞味期限などを入力、又賞味期限が掲載されていないものに対しては、あらかじめ暫定的に品名と、その食品に対応する賞味期限をデータ処理部3に入力しておく。即ち、賞味期限が表示されていない食品はわかっているもので、その食品について食品名と賞味期限をワープロで打っておき、そのデータを登録読みペン2により読取ってデータ処理部3に入力しておく。これらの入力データは、全てデータ処理部3に記憶される。表示ボード4は、液晶による表示パネルを使用し、裏面にマグネット装着し、冷蔵庫本体1に貼り付ける。なお、登録読みペン2は光学的読取り機能を有するもので、接続用コード7によりデータ処理部3に接続されている。電源部は図示していないが、表示ボード4の下端もしくは背面に小形の電池を装着しておくものとする。

【0007】表示ボード4は図3の様に、食品の品名を品名表示部5に表示される。次に賞味期限記憶データは、表示部4に図3の様に、図1のデータ処理部3で賞味期限データを記憶等の処理をされ、その記憶入力データを図3の表示灯6が赤色に変化し表示される。又、冷蔵庫より出庫食品に対してその食品データを消去したい時は、図3の表示灯6を押せばワンタッチで消去される。即ち、表示灯6は押ボタンスイッチ付表示灯になっている。消去された部分には再度データ入力された新しい情報が表示される。

【0008】なお、上記においては、食品の保存について示したが、例えば薬品等の商品の有効期限の表示にも利用できる。

【0009】

【発明の効果】上述の様に、本発明の冷蔵庫収蔵食品の品名及び賞味期限の外部表示具は、冷蔵庫のドアを開けて中をみることなく食品の収蔵確認と、賞味期限が徹底できることにより、資源確保（省エネ）と、安全確保（食中毒予防）に役立つことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示す制御系統図である。

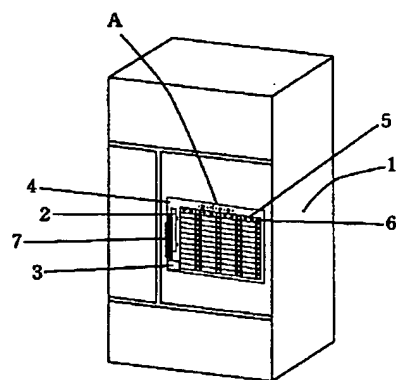
【図2】本発明の一実施例の外観を示す斜視図である。

【図3】本発明の表示ボードで、図2のA部拡大図である。

【符号の説明】

- 1 冷蔵庫
- 2 登録読みペン
- 3 データ処理部
- 4 表示ボード
- 5 食品の品名表示部
- 6 表示灯
- 7 接続用コード

【図2】



【図3】

